

シンポジウム

螺鈿

黒い漆地を背景に明るい光を放つ螺鈿（らでん）漆器は、中国漆器の華。その輝きを鑑賞しつつ、その歴史に迫ります。また、最新の科学技法による螺鈿に用いられる貝のタンパク質についての研究報告、螺鈿漆器の修復の報告、夜光貝の利用史など、多角的に螺鈿を検討します。

入場無料・申込不要

日時：平成22年3月22日（月）10：00～13：00

螺鈿漆器展：13：00～16：00

会場：奈良女子大学記念館2階

プログラム

開会挨拶

発表

「螺鈿四方盆・円盆の題材」

松尾良樹（奈良女子大学教授）

「螺鈿漆器の損傷と修復」

北村繁（漆芸家・京都造形芸術大学講師）

「貝のプロテオミクス」

中沢隆（奈良女子大学教授）

「考古学からみたヤコウガイ」

木下尚子（熊本大学教授）

閉会挨拶

主催：奈良女子大学古代学学術研究センター

共催：『古代史・環境史プロテオミクス研究創成事業』（奈良女子大学）

『文化財に含まれる膠の自然科学分析による古代文化史及び技術史の解明』プロジェクト（「異分野融合による方法的革新を目指した人文・社会科学的研究推進事業」、代表：宮路淳子）

『東洋漆工史研究会』（代表：北村昭斎）

問い合わせ先 〒630-8506 奈良市北魚屋西町
奈良女子大学 古代史・環境史プロテオミクス研究創成事業本部
Tel&Fax：0742-20-3563
E-mail:proteomics@cc.nara-wu.ac.jp